

氏名： 篁 倫子 (TAKAMURA Tomoko)
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系
職名： 教授
学位： 1980年8月 MA 文学修士 (米国インディアナ州立ボール大学大学院) / MA、Ball State University
1994年3月 医学博士 (東京女子医科大学) / Ph.D.、Tokyo Women's Medical University
専門分野： 臨床心理学、発達障害臨床、特別支援教育
E-mail： takamura.tomoko@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

発達障害とアセスメント/養育格差/小児がん
Assessment and Developmental Disabilities / Child Care Environments and Inequity / Childhood Cancer

◆主要業績

総数 (5) 件

- ・篁倫子、支援に生かすアセスメント、LD 研究、17(3)2-9
- ・上野一彦、篁倫子、海津亜希子、LDI-R LD 判断のための調査票、日本文化科学社
- ・篁倫子、発達と障害、池田まさみ (編)、臨床心理学用語事典、pp45-81
- ・篁倫子、アセスメントの活用と教科指導の工夫、特別支援教育の実践情報、123:14-17
- ・篁倫子、LD・ADHD・高機能自閉症等の発達障害向けの教材・教具の実証的研究報告書、全国 LD 親の会、pp64-66

◆研究内容 / Research Pursuits

子どもの行動および心理社会的発達に及ぼす環境
養育格差の影響 (グローバル COE 「格差センシティブな人間発達科学の創成」)

「小児がんの子どもの心理教育的支援」

小児がんの子どものターミナルケア・教育についての国際比較研究 (アメリカ、イタリア、ドイツ、オーストラリア)

「発達障害の子どものアセスメント」

子どもたちが抱える困難を学習や行動上のつまづきからいかに気づいていくか、支援につながる心理教育的アセスメントの手法を教員が身につけていくか。子どもに関わる人々の目を養う方法を提案していく

Effects of environmental and their inequity on behavioral and psychosocial development of children (GCOE "Science of Human Development for Restructuring the Gap-Widening Society")

International Comparative Study on Terminal Care and Education for Children with Cancer (USA, Italy, Germany, Australia as counter parts)

Psychoeducational Assessment for Children with Developmental Disorders applied in School

◆教育内容 / Educational Pursuits

<学部教育>

生涯発達の見点から臨床心理学を学ぶことを目標に置き、特に子どもの発達の問題と障害に対する心理・教育的支援を広く学ぶ授業内容である。担当講義では 1) 発達臨床診断法：乳幼児期の発達と心理学的アセスメントの考え方・手法を視聴覚教材や実際の検査法を概説、2) 障害臨床学：現代の障害概念を説き、同時に、自分自身にひきつけて考えていくよう導く。発達障害等について概説、3) 学校心理研究演習：病気や障害の子どもおよび家族の理解と心理教育的支援について指導。

<大学院>

子どもの発達の問題と障害に対する心理教育的臨床、医療での心理臨床を学ぶことを目的にしている。学生は研究テーマを理論的、実践的に学び、修士論文の研究を進める。
遺伝カウンセリングコースの博士課程学生に対して、ハイリスク児と発達障害について講義を行った。

◆研究計画

来年度から、発達障害の親のメンタルヘルスと支援に関する心理学的研究を開始する。療育、親の会等の支援リソースが親のメンタルヘルスの向上に果たしている役割・機能について臨床心理学的検討を行う。子どもの行動および心理社会的発達に及ぼす環境養育格差の影響（グローバル COE「格差センシティブな人間発達科学の創成」）をタイ、ベトナム、オーストラリア（担当）との国際比較研究を進める。